

表 4.1-3 環境影響評価の項目の選定

影響要因の区分			工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用	
			出入工事用資材等の搬	建設機械の稼働	造成等の施工による一時的な影響	地形改変及び施設の存在	施設の稼働
環境要素の区分							
1. 大気環境	大気質	粉じん等	○	○			
		二酸化窒素	○				
		浮遊粒子状物質	○				
	音	騒音	○	○			○
		低周波空気振動					○
	振動	振動	○	○			
	臭い	悪臭					
局地風	局地風						
2. 水環境	水質	水の濁り			○	○	
		重金属等				○	
	底質	底質汚染					
	地下水	地下水汚染					
3. 土壌環境	土壌	土壌汚染					
4. 地形及び地質	地盤	土地の安定性			○	○	
		地盤沈下					
	地下水	地下水の変化			○	○	
	河川	河川の変化			○	○	
	その他	土壌、土砂の抽出、堆積			○	○	
		貴重な地形・地質					○
5. 動物・植物・生態系	動物	重要な種及び注目すべき生息地			○	○	
	植物	重要な種及び重要な群落			○	○	
	生態系	地域を特徴づける生態系			○	○	
6. 景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観					○	
7. 文化財	文化財				○	○	
8. 人と自然との触れ合い活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場		○				
9. 廃棄物	廃棄物等	産業廃棄物			○	○	
		残土			○		
10. 地球環境	温室効果ガス等		○	○			○
11. 一般環境中の放射性物質	放射性の量						
12. その他	日照阻害						
	電波障害						
	光害					○	
	地域交通		○				
	電磁波						
	気温の変化					○	

注：1. は方法書において選定した項目である。

2. は、地域の特性及び事業特性を考慮し、「静岡県環境影響評価技術指針」（平成 11 年 6 月、静岡県告示第 525 号）の〔別表〕環境影響要因と環境要素との関連表から、太陽光発電事業で影響が想定されると考えられ方法書から追加した項目である。

表 4.1-4(1) 環境影響評価の項目として選定する理由

項 目			環境影響評価項目として選定する理由	
環境要素の区分		影響要因の区分		
大気環境	大気質	粉じん等	工事用資材等の搬出入	工事関係車両の主要な走行ルートに沿道に住宅等が存在することから選定する。
			建設機械の稼働	建設機械の稼働に伴い粉じん等の発生が想定され、対象事業実施区域の周囲に住宅等が存在することから、選定する。
		二酸化窒素	工事用資材等の搬出入	土砂搬出量が多く、工事関係車両の主要な走行ルートに沿道に住宅等が存在することから選定する。
		浮遊粒子状物質		
	音	騒音	工事用資材等の搬出入	工事関係車両の主要な走行ルートに沿道に住宅等が存在することから選定する。
			建設機械の稼働	建設機械の稼働に伴い騒音の発生が想定され、対象事業実施区域の周囲に住宅等が存在することから選定する。
			施設の稼働	パワーコンディショナー等から騒音の発生が想定され、対象事業実施区域の周囲に住宅等が存在することから選定する。
振動	振動	工事用資材等の搬出入	工事関係車両の主要な走行ルートに沿道に住宅等が存在することから選定する。	
		建設機械の稼働	建設機械の稼働に伴い振動の発生が想定され、対象事業実施区域の周囲に住宅等が存在することから選定する。	
水環境	水質	水の濁り	造成等の施工による一時的な影響	造成等の施工時に伴い雨水濁水の発生が想定されることから選定する。
			地形改変及び施設の存在	土地の改変後の地表面の状況によっては雨水濁水の発生が想定されることから選定する。
		重金属等	地形改変及び施設の存在	ソーラーパネルから有害物質が公共用水域への溶出は想定されないが、公共用水域の水質の状況を把握し、供用後に事業の影響がないことを確認するため選定する。
地形及び地質	地盤	土地の安定性	造成等の施工による一時的な影響	造成等の施工に伴い傾斜地において、土地の安定性が確保されないおそれがあることから選定する。
			地形改変及び施設の存在	傾斜地等における施設の存在により、土地の安定性が確保されないおそれがあることから選定する。
	地下水	地下水の変化	造成等の施工による一時的な影響	造成等の施工により、浸透水の変化による周辺域での地下水又は湧水への影響が想定されるため選定する。
			地形改変及び施設の存在	土地利用の変化により、浸透水の変化による周辺域での地下水又は湧水への影響が想定されるため選定する。
	河川	河川の変化	造成等の施工による一時的な影響	造成等の施工により、浸透能の変化による河川・沢等の流況への影響が想定されるため選定する。
			地形改変及び施設の存在	土地利用の変化により、浸透能の変化による河川・沢等の流況への影響が想定されるため選定する。
	その他	土壌、土砂の流出、堆積	造成等の施工による一時的な影響	造成等の施工により、土壌、土砂の流出、堆積が想定されることから選定する。
			地形改変及び施設の存在	傾斜地等における施設の存在により、土壌、土砂の流出、堆積が想定されることから選定する。
	貴重な地形及び地質	地形改変及び施設の存在	対象事業実施区域内に「日本の典型地形」((財)日本地図センター、平成11年)に記載される、学術上又は希少性の観点から重要な地形である丹那断層及び丹那盆地が存在することから選定する。	

表 4.1-4(2) 環境影響評価の項目として選定する理由

項 目		環境影響評価項目として選定する理由	
環境要素の区分		影響要因の区分	
動 物	重要な種及び注目すべき生息地	造成等の施工による一時的な影響	造成等の施工により、改変区域及びその周囲に生息する陸生動物及び水生動物に影響が生じる可能性があることから選定する。
		地形改変及び施設が存在	樹木の伐採や土地改変により、改変区域及びその周囲に生息する陸生動物及び水生動物に影響が生じる可能性があることから選定する。
植 物	重要な種及び重要な群落	造成等の施工による一時的な影響	造成等の施工により、改変区域及びその周囲に生育する陸生植物及び水生植物に影響が生じる可能性があることから選定する。
		地形改変及び施設が存在	樹木の伐採や土地改変により、改変区域及びその周囲に生育する陸生植物及び水生植物に影響が生じる可能性があることから選定する。
生 態 系	地域を特徴づける生態系	造成等の施工による一時的な影響	造成等の施工により、改変区域及びその周囲の生態系に影響が生じる可能性があることから選定する。
		地形改変及び施設が存在	樹木の伐採や土地改変により、改変区域及びその周囲の生態系に影響が生じる可能性があることから選定する。
景 観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観	地形改変及び施設が存在	地形改変及び施設が存在により、主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観に変化が生じる可能性があることから選定する。
文 化 財	文化財	造成等の施工による一時的な影響	対象事業実施区域内には、正岡子規も通った根布川通りが存在し、造成等の施工により影響を受ける可能性があることから選定する。
		地形改変及び施設が存在	対象事業実施区域内には根布川通りが存在することから選定する。
人と自然との 触れ合いの活 動 の 場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	工事用資材等の搬出入	工事関係車両の主要な走行ルート上に「歩きたくなるまち函南、軽井沢・田代公民館から歩く会のウォーキングマップ」並びに「函南サイクリングマップの半日コースⅠ」が存在し、工事用資材等の搬出入による影響が生じる可能性があることから選定する。
廃 棄 物 等	産業廃棄物	造成等の施工による一時的な影響	造成等の施工に伴い産業廃棄物が発生することから選定する。
		地形改変及び施設が存在	事業終了後に工作物の撤去又は廃棄が行われることから選定する。
	残 土	造成等の施工による一時的な影響	造成等の施工に伴い残土が発生することから選定する。
地球環境	温室効果ガス等	工事用資材等の搬出入	工事用資材等の搬出入に伴う車両の走行による温室効果ガス等の発生が想定されることから選定する。
		建設機械の稼働	重機の稼働に伴う温室効果ガス等の発生が想定されることから選定する。
		施設の稼働	施設の稼働に伴い、地域の温室効果ガス等の排出量の変化が想定されることから選定する。
そ の 他	光害	地形改変及び施設が存在	近隣に民家等が存在し、太陽光パネルの反射光による影響が発生する可能性があることから選定する。
	地域交通	工事用資材等の搬出入	軽井沢地区の道路の幅員は、狭い箇所道路幅が3.5m、両路肩幅が0.5mで、有効幅員が4.5mと狭く、地域住民等に対する交通安全への配慮が必要であることから選定する。
	気温の変化	地形改変及び施設が存在	近隣に民家等が存在し、太陽光パネルの設置個所など土地の利用の変化に伴う気温上昇の影響が発生する可能性があることから選定する。

表 4.1-5 環境影響評価の項目として選定しない理由

項 目			環境影響評価項目として選定しない理由	根拠	
環境要素の区分		影響要因の区分			
大気環境	臭い	悪臭	造成等の施工による一時的な影響 施設の稼働	工事中及び供用時において、悪臭を発生させる工種又は施設建設の計画がないことから選定しない。	第1号
	局地風	局地風	地形改変及び施設の使用	供用時において、強風現象を発生させるような地形や高層建築物の立地の計画がないことから選定しない。	第1号
水質	底質	底質汚染	造成等の施工による一時的な影響 地形改変及び施設の使用	工事中及び供用時において、底質に影響を与える工種又は施設建設の計画がないことから選定しない。	第1号
	地下水	地下水汚染	造成等の施工による一時的な影響	工事中及び供用時において、地下水汚染の原因となる工種又は施設建設の計画がないことから選定しない。	第1号
土壌環境	土壌	土壌汚染	造成等の施工による一時的な影響	対象事業実施区域及びその周囲において、土壌汚染が確認されていないことから選定しない。	第1号
地形及び地質	地盤	地盤沈下	地形改変及び施設の使用	対象事業実施区域及びその周囲において、地盤沈下が生じるおそれのある軟弱地盤が確認されていないことから選定しない。	第1号
	海況	海況の変化	地形改変及び施設の使用	対象事業実施区域及びその周囲には海域が存在しないことから、海域に及ぼす影響はないと考えられるため選定しない。	第1号
一般環境中の放射線の量	放射線の量	工所用資材等の搬出入 建設機械の稼働 造成等の施工による一時的な影響	原子力災害対策特別措置法に基づく避難指示区域ではないこと、空間線量率が28.7nGy/hと低く、対象事業の実施により、放射性物質が相当程度拡散または流出するおそれがないことから選定しない。	第1号	
その他	日照障害	地形改変及び施設の使用	供用時において、日照障害が生じる高層建築物の立地の計画がないことから選定しない。	第1号	
	電波障害	地形改変及び施設の使用	供用時において、パワーコンディショナーなどの発電施設の稼働に伴う電磁波による電波障害の事例がないことから選定しない	第1号	
	電磁波	地形改変及び施設の使用	供用時において、パワーコンディショナーなどの発電施設の稼働に伴う電磁波による電磁波障害の事例がないことから選定しない	第1号	

注：第1号の根拠は「環境影響がないか又は環境影響の程度が極めて小さいことが明らかである場合」である。